

「新・神戸文化ホール整備基本計画」の増補案について

1. 経緯

新・神戸文化ホールについては、令和2年3月に策定し令和3年8月に改定した「新・神戸文化ホール整備基本計画」(別添)の中で、施設計画や管理運営の考え方等が示されています。このうち、2030年度以降に完成予定の中ホールに求める機能の詳細については、雲井通5・6丁目地区再整備事業(Ⅱ期)と合わせて考える必要があることから、引き続き検討を行うこととしてきました。

このたび、再開発事業の進捗に伴い、中ホールの機能の詳細部分について、「新・神戸文化ホール整備基本計画検討委員会」の意見を踏まえて増補します。

2. 増補の概要

(1) 基本の方針の決定

ダンス、演劇、伝統芸能、音楽などの様々な発表の場として、現・神戸文化ホール中ホールと同様に幅広いニーズにフレキシブルに対応できる多目的ホールとする。また、先行して完成する大ホールと相互に連携して一体的に運用するものとし、そのための動線、連絡通信設備などを確保することとする。

(2) レジデント機能の確保

中ホールだけでなく、先行して完成する大ホールとあわせて神戸市室内管弦楽団と神戸市混声合唱団がレジデントするホールとして相応しい機能を有したものとする。

3. 今後のスケジュール

2024年9月～10月 増補案にかかるパブリックコメントの募集

11月 増補版の確定・公表

4. 増補の内容（新旧対照表）

P.14

3. 施設計画

(2) 基本性能の整理

② 中ホール

新	旧
<p>現・文化ホール中ホールの担ってきた機能を基本的に継承し、今後の新しいニーズにも対応できるものとします。</p> <p>ダンス、演劇、伝統芸能、音楽などの様々な発表の場として、幅広いニーズにフレキシブルに対応できるホールとなるよう計画します。</p> <p>席数に関しては、ゆったりと鑑賞ができるよう、座席のゆとりやステージまでの視距離を考え観客の満足度を高める工夫をした上で、現在の利用状況を踏まえて700席程度とします。</p> <p><u>先行して完成する大ホールとあわせて神戸市室内管弦楽団や神戸市混声合唱団のレジデント機能を有するものとし、その他、相互に連携して一体的に運用するための動線、連絡通信設備などを確保します。</u></p> <ul style="list-style-type: none">・ 客席数 700 席程度・ 多様な表現に対応できる舞台・ 多層バルコニー客席	<p>現・文化ホール中ホールの担ってきた機能を基本的に継承し、今後の新しいニーズにも対応できるものとします。</p> <p>ダンス、演劇、伝統芸能、音楽などの様々な発表の場として、幅広いニーズにフレキシブルに対応できるホールとなるよう計画します。 <u>また、神戸市室内管弦楽団や神戸市混声合唱団のレジデント機能に関しては、大ホールとの連携なども含め、今後更に検討を進めます。</u></p> <p>席数に関しては、ゆったりと鑑賞ができるよう、座席のゆとりやステージまでの視距離を考え観客の満足度を高める工夫をした上で、現在の利用状況を踏まえて700席程度とします。</p> <p><u>中ホールに求める機能の詳細については、雲井通5・6丁目再整備計画（Ⅱ期）と合わせて考える必要があり、引き続き検討を行うこととします。</u></p> <ul style="list-style-type: none">・ 客席数 700 席程度・ 多様な表現に対応できる舞台・ <u>神戸市室内管弦楽団と神戸市混声合唱団の活動拠点として活用</u>・ 多層バルコニー客席

(3)主たる機能諸室

②中ホール

【基本的な方針】

新	旧
<ul style="list-style-type: none"> ・ 現・文化ホール中ホールの担ってきた機能を基本的に継承し、今後の新しいニーズにも対応できるものとします。 ・ ダンス、演劇、伝統芸能、音楽などの様々な発表の場として、幅広いニーズにフレキシブルに対応できるホールとします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現・文化ホール中ホールの担ってきた機能を基本的に継承し、今後の新しいニーズにも対応できるものとします。 ・ ダンス、演劇、伝統芸能、音楽などの様々な発表の場として、幅広いニーズにフレキシブルに対応できるホールとします。<u>また、神戸市室内管弦楽団や神戸市混声合唱団のレジデント機能に関しては、大ホールとの連携なども含め、今後更に検討を進めます。</u> ・ <u>中ホールに求める機能の詳細については、雲井通6丁目再整備計画と合わせて考える必要があり、引き続き検討を行うこととします。</u>

【基本性能】

	新	旧
舞 台	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダンス、演劇、伝統芸能、音楽など様々な分野に対応できるものとする ・ <u>舞台転換を制約しない舞台奥行きやフライタワの高さ、舞台袖の広さを確保できるよう検討する</u> ・ 可動式の音響反射板を設け、演目により適した音響を提供できるものとする ・ <u>音響反射板は舞台照明、舞台美術を制約しない位置に格納できるよう検討する</u> ・ <u>吊物設備は十分な本数（台数）と積載荷重や速度を検討する</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダンス、演劇、伝統芸能、音楽など様々な分野に対応できるものとする ・ 可動式の音響反射板を設け、演目により適した音響を提供できるものとする
客 席	<ul style="list-style-type: none"> ・ 客席数 700 席程度とし、多層バルコニー客席を検討 ・ <u>主舞台を十分に見渡せるサイトライン、ゆとりのある客席など誰にとっても望ましい鑑賞条件を備え、舞台との一体感を感じられる客席配置とする</u> ・ <u>公演の目的に応じた音の響きや明瞭さ、聞こえやすさを確保できるよう検討する</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 客席数 700 席程度とし、多層バルコニー客席を検討 ・ <u>多彩な公演に適した残響時間を確保できるよう対応する</u>
楽 屋	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な種類の公演に対応可能な楽屋数・規模を確保 ・ 想定以上の収容人数が必要となる場合には、創造支援機能等を楽屋として活用することを検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な種類の公演に対応可能な楽屋数・規模を確保 ・ 想定以上の収容人数が必要となる場合には、創造支援機能等を楽屋として活用することを検討する
搬入口	<ul style="list-style-type: none"> ・ 搬出入車両は 11 t クラスのガルウイング仕様のトラックを想定 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 搬出入車両は 11 t クラスのガルウイング仕様のトラックを想定

【創造支援機能】

	新	旧
リハーサル室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本番前のウォーミングアップやチューニング利用を想定 ・ 楽屋利用に対応できる舞台からの動線の確保 ・ 音楽、ダンス、演劇、伝統芸能など中ホールで行う公演等のリハーサルも行えるよう、必要な広さと有効高さを確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本番前のウォーミングアップやチューニング利用を想定 ・ 楽屋利用に対応できる舞台からの動線の確保 ・ 音楽、ダンス、演劇、伝統芸能など中ホールで行う公演等のリハーサルも行えるよう、必要な広さと有効高さを確保
練習室	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>利用の目的に即した広さと有効高さを備えた練習室を複数設ける</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>神戸市室内管弦楽団と神戸市混声合唱団の練習室も含めて、複数の練習室を用意する</u>
付属機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交流ラウンジ・情報コーナー ・ 利用者用の更衣室、ロッカー、トイレなど ・ 技術スタッフと制作スタッフの連携にむけた技術・制作支援室 ・ 大道具・小道具、衣裳などの製作室、楽器庫、倉庫等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交流ラウンジ・情報コーナー ・ 利用者用の更衣室、ロッカー、トイレなど ・ 技術スタッフと制作スタッフの連携にむけた技術・制作支援室 ・ 大道具・小道具、衣裳などの製作室、楽器庫、倉庫等

5. 検討委員会について（参考）

（1）検討の経過

2024年6月17日 第1回検討委員会

2024年7月10日 ワーキンググループ

2024年9月2日 第2回検討委員会

検討委員会の資料や議事要旨は下記をご覧ください。

神戸市 HP ホーム > 文化・スポーツ > 芸術文化 > 新・神戸文化ホールの整備に向けて

<https://www.city.kobe.lg.jp/a36708/kanko/bunka/gejutsu/bunkahallsebi/index.html>



（2）委員名簿

	委員	所属・役職	備考
芸術文化団体関係者 芸術家・	貞松 正一郎	（一社）貞松・浜田バレエ団 理事・芸術監督	洋舞分野 日本バレエ団連盟理事
	服部 孝司	神戸市民文化振興財団理事長	神戸市室内管弦楽団 神戸市混声合唱団
	宮本 慶子	兵庫県音楽活動推進会議相談役 神戸マリンバソサエティ代表	器楽(洋楽・クラシック)分野 神戸芸術文化会議議長
	森 もりこ	劇団自由人会代表 兵庫県劇団協議会代表	演劇分野 神戸文化ホール検討会議メンバー
学識経験者	清水 裕之	名古屋大学名誉教授 文化経済学会元理事長	ホール空間計画分野
	徳永 高志	アート NPO ココア理事長	ホール運営分野 H28 年度文化ホールあり方 検討外部委員